

★ 第3回講義：志望企業の内定を決めた院生たちが語る
 ★ 第4回講義：就活エントリーシートで自己PRする

国立大学法人
 東京海洋大学・キャリア支援センター
 電話：03-5463-0575
 Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
 http://www.kaiyodaicareer.com/

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア支援センターが作成・配信しています。
 キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

● 第4回 高度専門キャリア形成論

キャリアデザイン講座・第2弾

令和2年10月29～30日 オンライン授業（受講生 50名）

～ 自己分析と企業分析：エントリーシートで自己PRする～

塩谷 和美 特任教授 東京海洋大学 キャリア支援センター

※ 2022年入社組の就活は更に厳しくなる予想！

就職戦線は今年以上に厳しくなり、他者に先駆けていち早く準備したかどうかで成功のカギを握る。そのためには計画的なスケジュールを作り、確実なステップを積み重ねる事が必須条件だ。この3か月間で自己分析と企業分析を確実に終えて、志望企業どこへ出しても通過できるエントリーシートの完成と、志望企業への志望動機などどんな質問にも答えられるように仕上げておく必要がある。



※ 自己分析と企業分析を徹底し、アンマッチがないように

キャリアの3つの輪（WILL/CAN/SHOULD）の交わるところが自身のキャリアの方向性・可能性であることを理解する事からキャリアデザインを始める。自己理解の次は自身の価値観とマッチングする働き方は？自分らしい働き方ができる業界と企業選択をしていく。このプロセスが就活初期の最も重要なところである。職業選択の第一歩は自己分析+企業分析を交互にやって選択肢を絞ることだ。

※ エントリーシート（ES）で自己PRし面接につなげる

就活は2つのステップを経て内定を勝ち取るストーリーだ。書類審査はエントリーシートを読んだ人事担当者が会ってみたい！と思わせれば通過し、その後、役員面談まで数回にわたる面接で、この学生と一緒に仕事したい！と思ってもらえれば内定となる。どこへ出しても通過する鉄板のESを書こう。

※ 秋冬のインターンシップに参加を

とにかく就活行動を始めることが大切！一人で考え込んでも前に進まない。企業研究を行って、ESを書こう、OBOGと会って話を聞く。行動を起こして目指す企業人になるための第1歩を踏み出そう。

就活だけは、あの時やっておけば良かったという【不作為の後悔】とならないように！

◆ キャリア支援センターのキャリア開発支援

- ① 「高度専門キャリア形成論」講座で能力開発とキャリア自律の啓発
- ② 「キャリア面談」で就職活動の総合的な支援
- ③ 学部生（1年次）へ「キャリア形成論Ⅰ」を開講
- ④ 学部生（3年次）へ「キャリア形成論Ⅱ」を開講

◆ メールアドレスを登録すると、講義日程・内容等をメールでお知らせします。
 ホームページから登録できます。 <http://www.kaiyodaicareer.com/>

● 第3回 高度専門キャリア形成論

「志望企業への内定を決めた院生たちが語る！」

令和2年10月15～16日 オンライン授業（受講生 69名）

～ 何が決め手となったのか？就活に役立ったことはなに？～

《コロナ禍の就活で志望企業の内定を決めた秘訣とは》就活準備を早い時期から始め、自己理解を深め、企業研究でどう自分を売り込むかの戦略を考え、計画的に実行した院生が志望企業の内定を果たしています。 塩谷 和美 特任教授（キャリア支援センター）

※ 小山 浩社さん（MC2） 大手エネルギー会社

早くから準備し夏のインターンシップに参加し、早期選考に応募した。2月から本格的にオンライン説明会にも参加した結果、受験企業は7社に絞り込み、集中して最終選考に臨んだ。特に留意したことは院生（年齢的には社会人）としての振る舞い（礼儀・態度・時事情報等）に心がけて、顔と名前を覚えてもらうように努めた。面接では「入社したいという強い思い」を素直に伝えられたことが内定につながった。



※ 本田 梨香子さん（MC2） 大手食品メーカー

食品業界だけの応募とし、志望企業の商品は必ず試食して面接に臨んだ。多数の受験企業への期限に余裕を持って準備することが肝要。特に留意したことは、オンライン面接では表情をはっきりし、堂々と物怖じしない姿勢が大切だ。自己分析は本当に大切だと思う。面接での質問や回答は終わったらすぐにメモすることも心がけた。キャリア面談を活用し場数を踏むこと、そして就活中のストレス解消も忘れずに。



※ 田邊 勇樹さん（MC2） 大手製薬会社

就活は新薬メーカー中心に9社に限定し、かつ製薬研究職1本に絞り込み「選択と集中」の就活に専念した。製薬会社に勤務する先輩からの情報を得て、企業研究と職種研究は徹底して行った。内定の決め手は論理的思考力と研究に対する理解とその説明力。普段から論理的に話ができるように心がける事が大切だと思う。社会人になっても絶えず学び続けて、5年後には博士号を取得して1人前の研究者となっていたい。



※ 築館 加奈子さん（MC2） 大手食品メーカー

学部4年次から就活を意識していた。初めに業界は絞り込まないで、自己分析を行い、自分らしさの伝わる文章や言葉を意識した。自身の強みと信念でぶれない軸を確立することが大切だ。自分の夢を実現できそうな会社を選び、まずは現場を知っておきたかったので、『工場の生産管理部門』を志願した。仕事へのわくわく感をこれからも忘れず、私のモットーである「好奇心と挑戦」で、コツコツ努力を続けていきたい。



※ 山下 和宏さん（MC2） 大手水処理メーカー

早期からインターンシップには参加すべき（ES慣れ・人事に好印象を・早期選考へ面白い）でアドバンテージが得られる。支援センター、教授、OBOG訪問、友人など多くの人に意見を求めよう。キャリア面談で志望業界が大きく変化し、研究分野以外の業界でも怖がることなく目標を語る事ができたし、内定した企業には「心から入社したい」と思っていた。最後まで就活を楽しみ、納得のいく結果を得ることができた。



共通のキーワードは「徹底した自己分析・企業分析」「自分の軸を持つ」「笑顔で自分らしさを表現する」「前向きに場数を踏んで就活を楽しむ」です。
 明るい未来を切り拓きたい！皆さんの強い決意が印象的でした。

キャリア面談で就職活動をしっかりサポートします

～キャリアコンサルタントとの面談で成果をあげられます！～

・就職活動すべての節目に的確なアドバイスをします。

□キャリア面談希望の方は下記のアドレスへメールでお問い合わせください

career@m.kaiyodai.ac.jp 品川キャンパス白鷹館 キャリア支援センター

